

おうちの方へ



本年もどうぞよろしくお願いいたします。全国的にも新型コロナウイルス感染症第6波の感染が広がり、大田原市内でも感染者が増える可能性が極めて高い状態です。昨年に引き続き、感染症予防対策とお子様の体調管理への御配慮をお願いいたします。また、誰もが感染者や濃厚接触者になる可能性があります。相手の立場に立ち、思いやりをもって、今の状況乗り越えていきたいですね。



冬休み中、生活リズムが崩れてしまった人が多いと思います。睡眠・食事・運動のリズムを整えて免疫力をアップさせウイルスに負けない体を作りましょう。学校では、休み時間や体育の時間に運動をしています。御家庭では、しっかり睡眠をとり、バランスの良い朝食をとって登校できるように御協力をお願いします。



感染症流行情報について(学校関係)

【令和4年1月11日現在】



- * 西原小学校の状況
新型コロナウイルス感染症関係の出席停止
(発熱等で感染の心配がある、家族の体調不良の合計人数 5人)
- * 大田原市内の状況
新型コロナウイルス感染症関係の出席停止
(発熱等で感染の心配がある、家族の体調不良の合計人数 25人)
- * 栃木県内の状況
水痘7名、感染性胃腸炎3名、インフルエンザ1名
流行性角結膜炎1名
新型コロナウイルス感染症関係の出席停止
(発熱等で感染の疑いや心配がある、家族の体調不良、濃厚接触者、感染者の合計人数 722名)
- * 自分たちにできる感染症対策【手洗い、マスク、換気】をしっかりしていきましょう!!

災害とおむすびのお話

1995年1月17日、兵庫県南部で大きな地震が発生しました。阪神・淡路大震災です。その後「ボランティア活動への認識」「災害の備えの充実強化」を目的に、1月17日は防災とボランティアの日とされました。



そして、当時、被災した人たちに希望を与えたのが、おむすびの炊き出しでした。お米の大切さと善意への感謝を忘れないため、1月17日はおむすびの日にもなっています。

さて、おむすびは忙しい朝の強い味方でもあります。手軽に食べることができ、具材を工夫すれば栄養も補えます。しらす、たまご、昆布、チーズなど、アレンジしながら楽しく朝ごはんに取り入れてみてくださいね。



6年生の思春期健康教室では、助産師さんから生命誕生や思春期についての話を聞いたり、赤ちゃん人形を抱く体験をしたりしました。それぞれに思春期の心や体の変化を自分のこととして受け入れ、命の大切さや家族への感謝の気持ちを考えるきっかけになったようです。児童の感想を一部紹介します。(一部原文のひらがなを漢字に変えています。)

☆私は今までたくさんの人から愛情をもらって生きてきたということが分かりました。お父さんやお母さんからもらった大切な命をむだにしないように、自分らしく生きていきたいです。

☆人と関わるときに、相手のことを考えて相手がかきずつかないように気を付けたり、相手が自分と同じことを望んでいるとはかぎらないと思ったりすることが大切だと分かった。

☆生まれたときの赤ちゃんの声を聞いたのが初めてでした。がんばって泣いていることが伝わって感動しました。

☆思春期には体や心にどのような変化が起こるのかなど、ぼくたちのこれからのことが分かりました。

☆赤ちゃん人形をだっこして妹たちが小さいころを思い出して、あたたかい気持ちになりました。

☆思春期で親に反発してしまうこともあると思いますが感謝の気持ちを忘れずにいたいです。

